

enjoy the illusion

enjoy the illusion



木の葉で、まだらになった地面……

撮影：Ron James

ラマチャンドラン『脳のなかの幽霊』角川文庫 p373

いったん××が見えてしまうと、取り消せない！

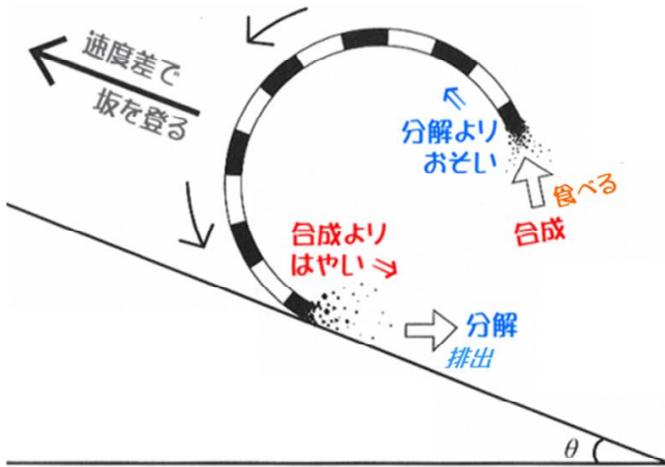
※プライミング効果？（扁桃核の働き？）



ネッカーキューブ

ネッカーの六面体（奥行き反転図形）

立体の見え方は動的で変化がある。
変化の前A 後Bについて、ABを同時に認識できない。
双安定的知覚または「意識の統一性」ともいう。



「いのち」の数理モデル

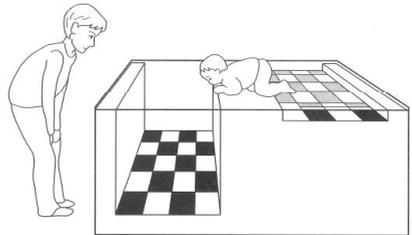
福岡伸一『新版 動的平衡』小学館新書 p303掲載図より改編作成（筆者）

坂を登っている限り「生きている」

θ は可変

----- 視覚的断崖
 開一夫『赤ちゃんの不思議』岩波新書 p123

193pub.com



他者先んじて自己生ず

enjoy the illusion 山田利行

2025年11月27日発行 <https://193pub.com>

自然 子育て 遊び



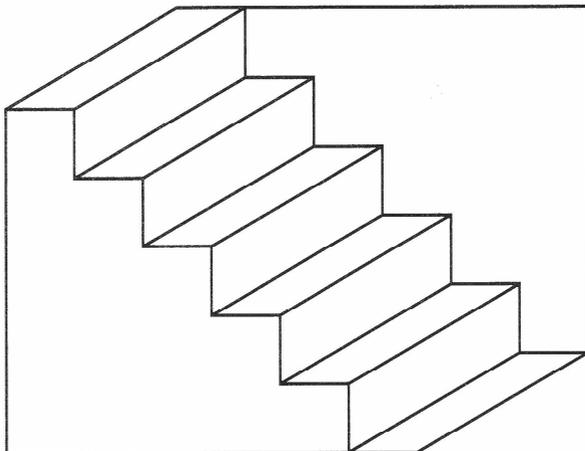
※この冊子は解答(?)に配慮できていません。

ご希望の向きは、お訊ねください。

シュレーダーの階段

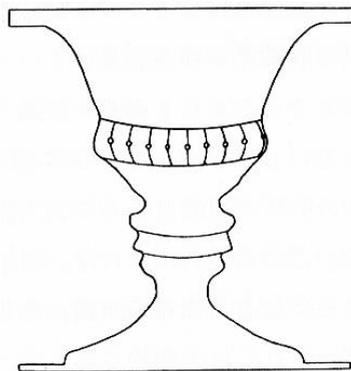
(奥行き反転図形)

階段の向きが……



(奥行き反転図形)

ルビンの壺



ミヒヤエル・エンデ作 大島かおり訳 『モモ』岩波書店 1976年

p304 再会

//そのとたんに、はだしの足になにかそっとさわったものがあります。モモはぎくっとして、そろそろとしゃがみこみました。

するとどうでしょう、目のまえにカメがいるではありませんか！ そしてくらがりの中に、ゆっくりと文字が光りました。

「マタキマシタヨ」

とっさにモモはカメをつかむと、上衣（うわぎ）の中にかくしました。そして立ちあがって、あたりのくらやみをうかがいました。灰色の男がまだ近くにのこってはいまいかと、心配だったのです。//

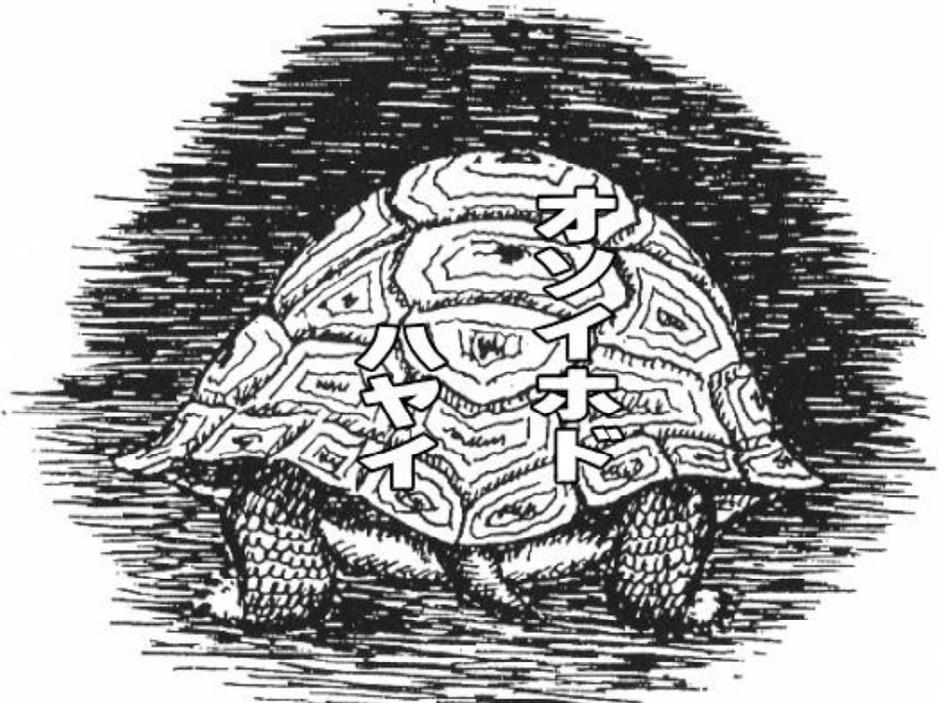
p310

//もうここまでくれば、マイスター・ホラのところにたどりつくまで、あとひと息です。

「ねえ、おねがい。」と、彼女はカシオペイアに言いました。「もうちょっとはやく歩けない？」

「オソイホド ハヤイ」

カメはこうこたえると、これまでよりもっとのろのろと這いました。//





両眼視野闘争

(両眼間抑制)

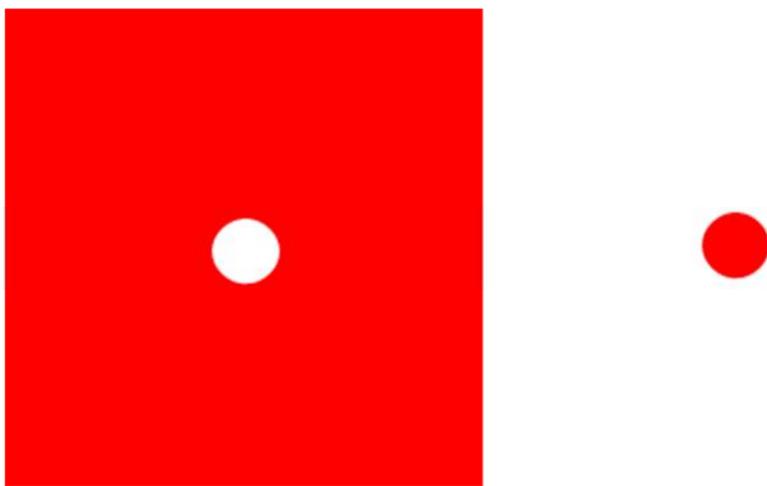


壊れた排水路の雨水を浴びる

1980年頃 小学3年生 神戸市須磨区

第二神明道路
高架下

右の目を閉じ、左の目で●を見つめる。
紙面との距離を調節すると、左の○が消える。
消えた○は■で埋め合わされる。



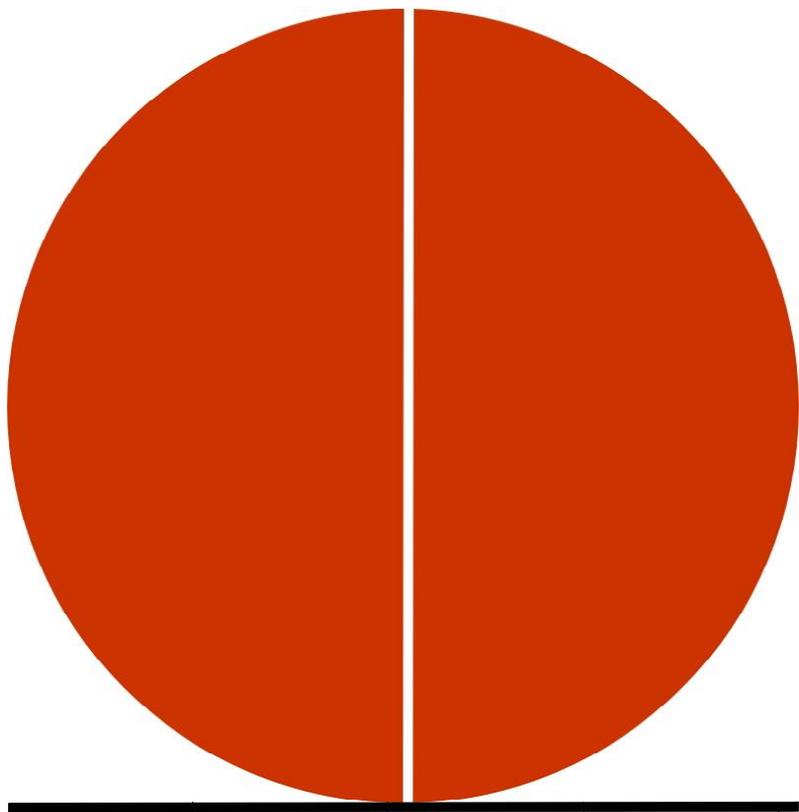
左右を逆にすると、●が消える。
周囲の白地で埋め合わされる。



撮影：大見端 2004.7.20

[問題] 次のうち、正しいのはどれか？

1. 地球のまわる速さは、アリの歩く速さより遅い。
2. 地球のまわる速さは、アリの歩く速さより速いが、自転車より遅い。
3. 地球のまわる速さは、自転車より速いが新幹線より遅い。
4. 地球のまわる速さは、新幹線より速いが飛行機より遅い。
5. 地球のまわる速さは、飛行機より速い。



沈む夕陽が大きいわけ

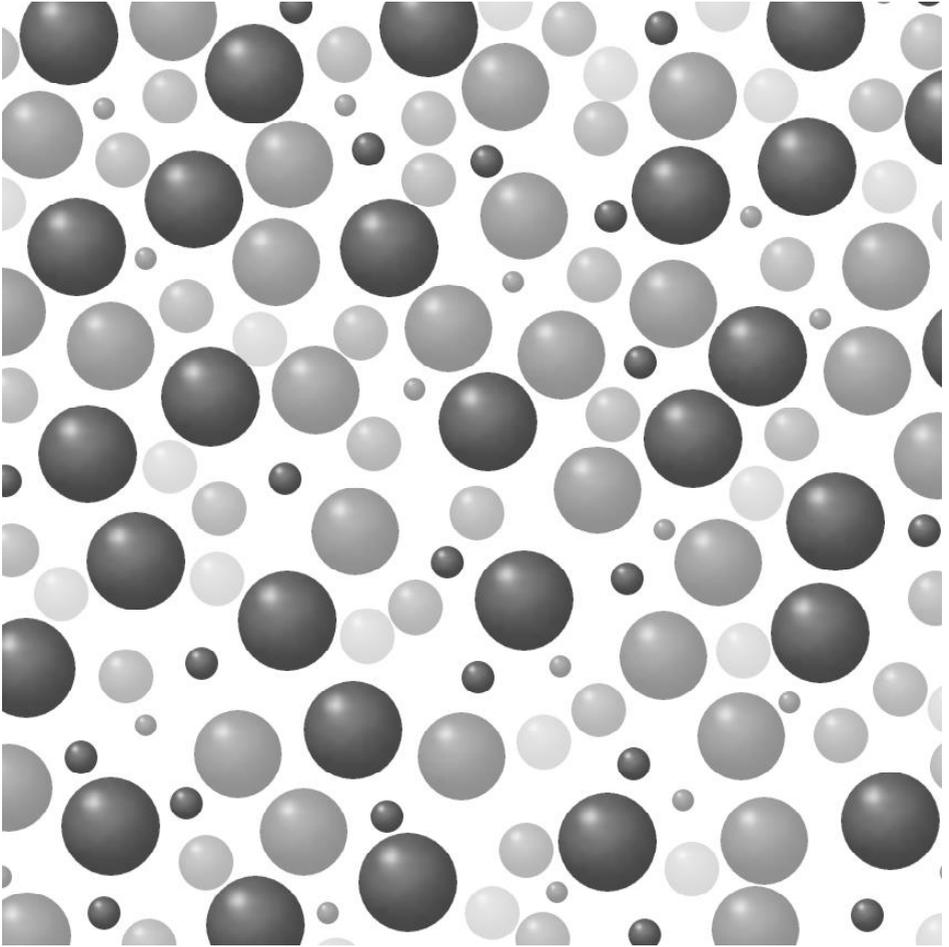
逆さまのT
白と黒の線は同じ長さ



デュオこうべ サンポルタ広場



撮影：筆者

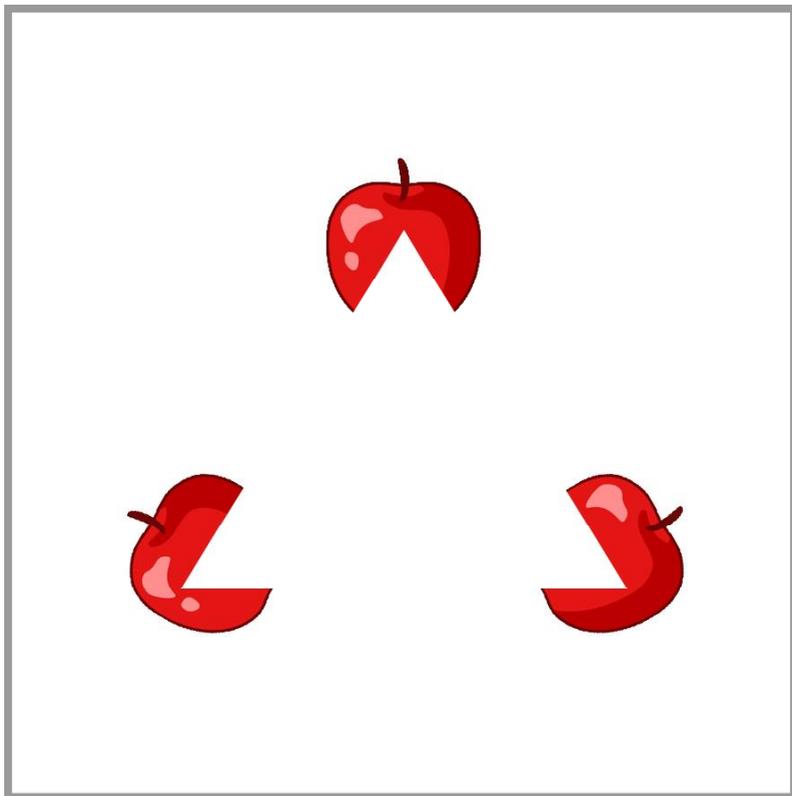


乳幼児の主体仮想センサー（筆者イメージ）

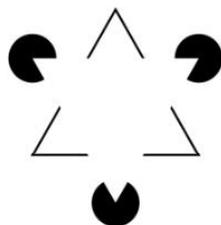
レジで精算待ちをしていると向かいの列から2歳半くらいの女の子が出てきてわたしと目が合った。女兒は身を翻しママとおぼしき元へ戻った。身を守るセンサーが作動した。感知器のように動作するそれを目撃した。

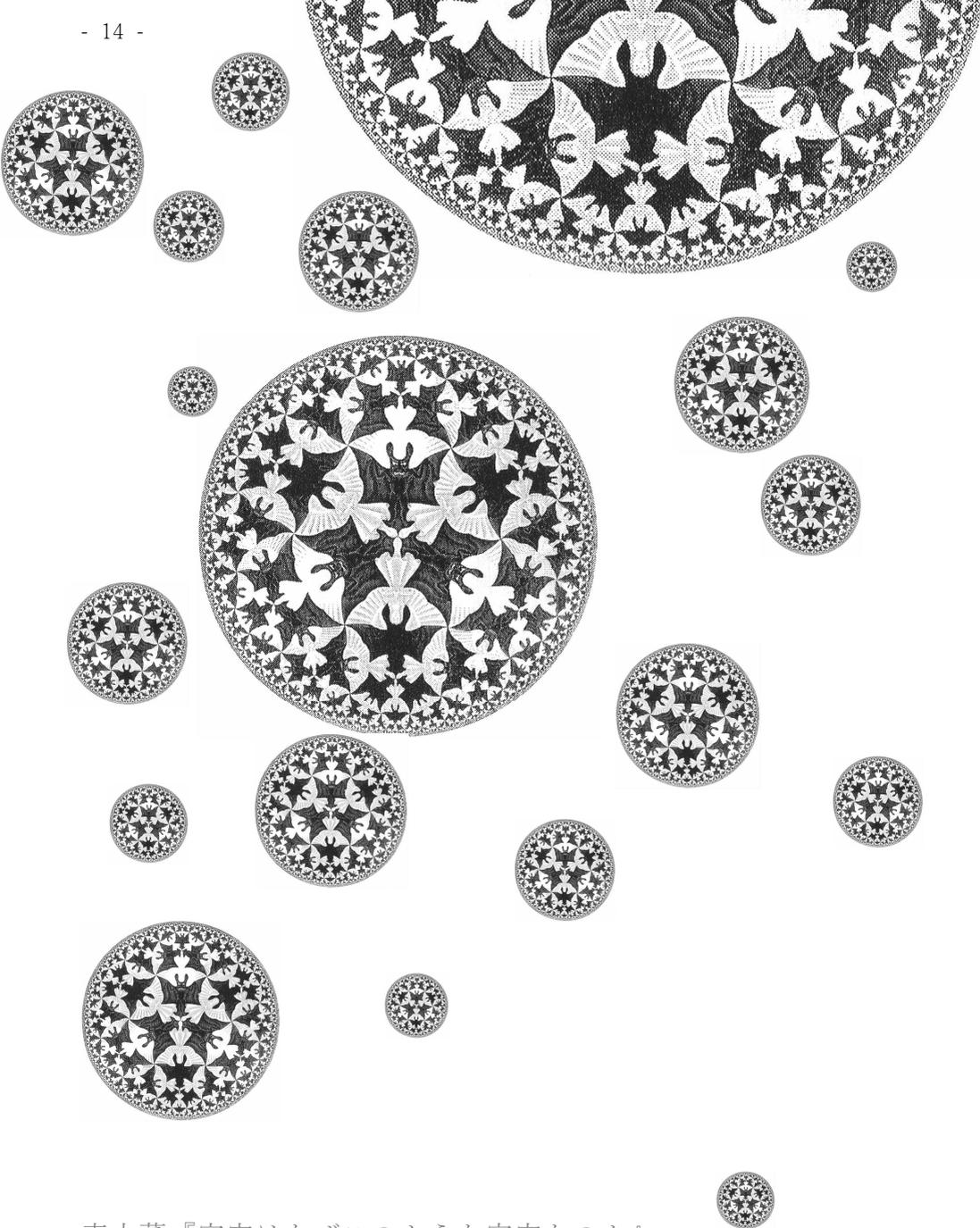
店内をうろついていると、かわいい女兒にまた出会った。迷子にならない程度に、ほどよい距離を保っているのだろう。背格好や身のこなしから2歳半くらいと思った。——透明のポリ袋に入ったバナナを手にしていた。

（主体仮想センサーに科学的根拠はありません）



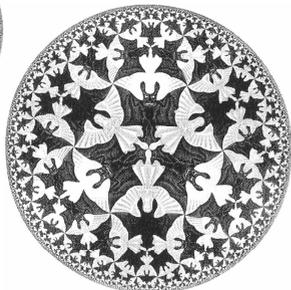
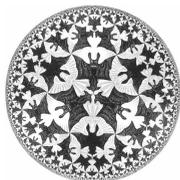
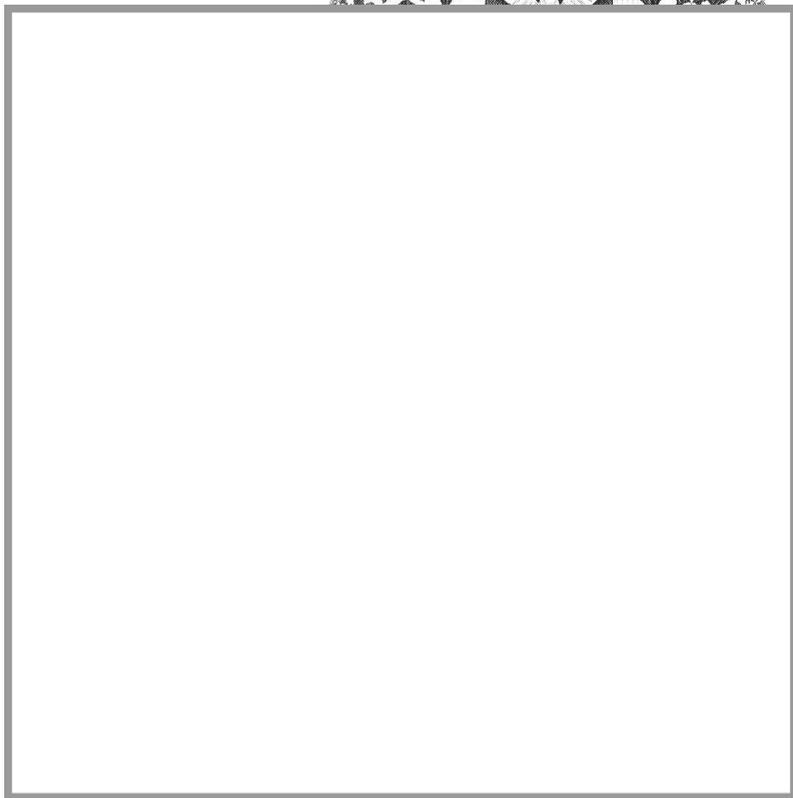
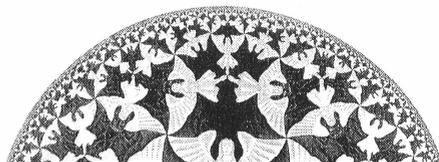
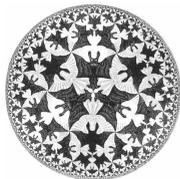
カニツアの三角形





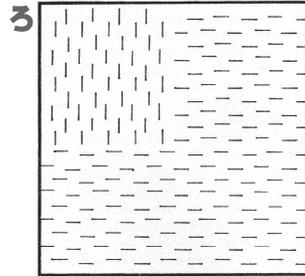
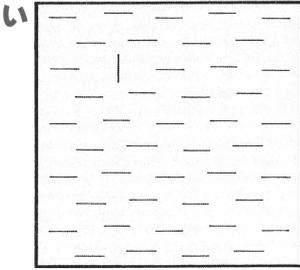
青木薫『宇宙はなぜこのような宇宙なのか』

p158 強い人間原理と「多宇宙」



消えた! なにか?





撮影：筆者

葉に、浮かぶように咲く花 ハナイカダ

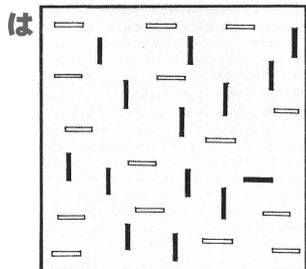
リチャード・ドーキンス『利己的な遺伝子』（40周年記念版）2018年
p59//生物学者や化学者が、3,40億年前に海洋を構成していたと考えている
「原始のスープ」にも、これと似たような過程が起こったはずだ。//
p165//原始のスープにおいてそうだったと同様に、それは世界中に分布し
ている。//

46億年

原始のスープ

38億年

いのちのはじまり



指令

いろは 変わりものを探せ！

下條信輔『サブリミナル・マインド』

中公新書 p165



撮影：筆者

DNAの生存戦略 擬態

p165

//では個々の利己的な遺伝子の目的はいったい何なのか。遺伝子プール内にさらに数を増やそうとすること、というのがその答えだ。それ、つまり個々の遺伝子は、基本的には、それが生存し繁殖する場となる体をプログラムするのを手伝うことによって、これを行なっている。//

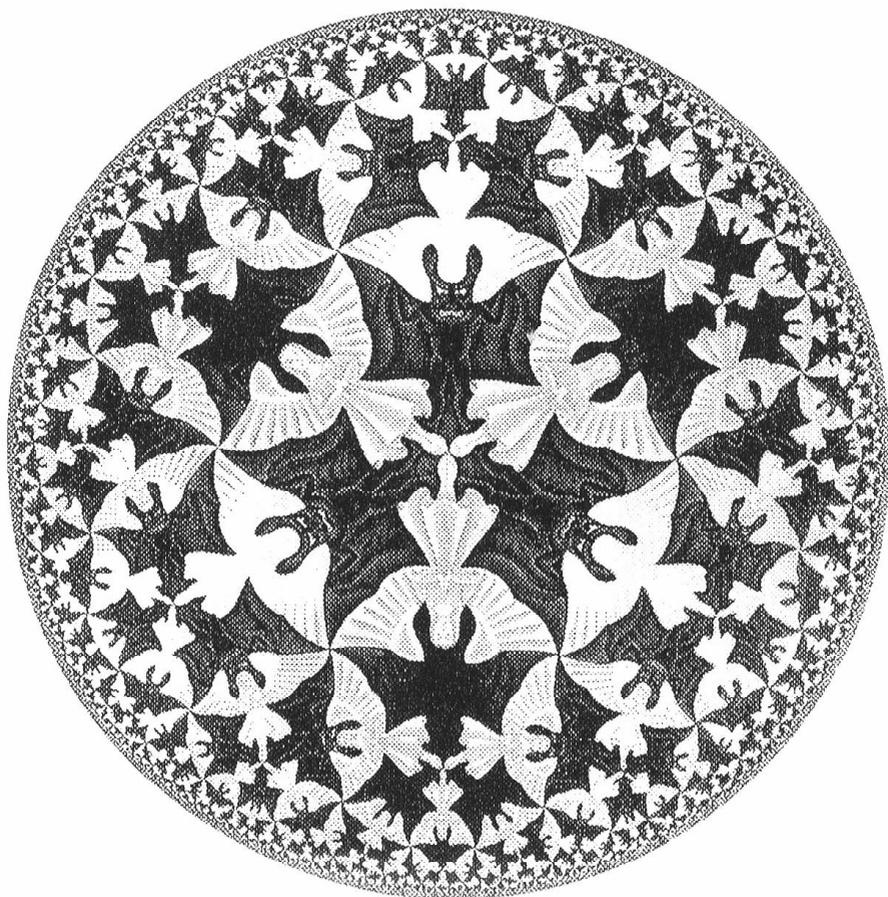
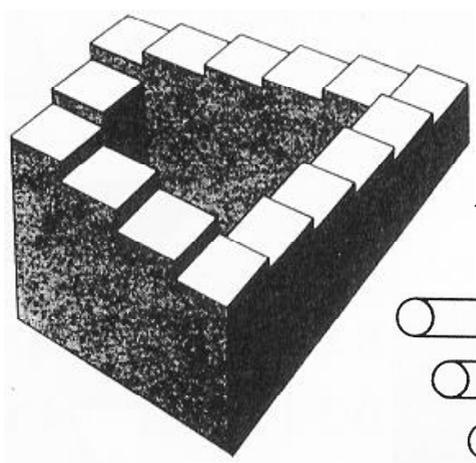


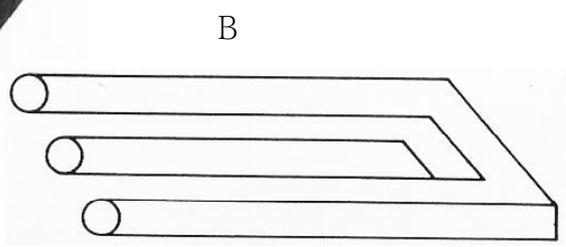
図2-2 M.C.エッシャー『サークルリミットⅣ
(天国と地獄)』

青木薫『宇宙はなぜこのような宇宙なのか』
講談社 現代新書 2013年 p77

天使／悪魔の絵は小さくなるが、大きさは変わらないのだろう。
無限の彼方まで続く。しかしながら、円の輪郭は確かにある。



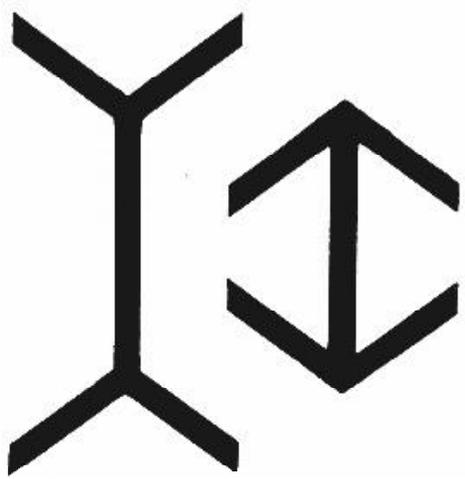
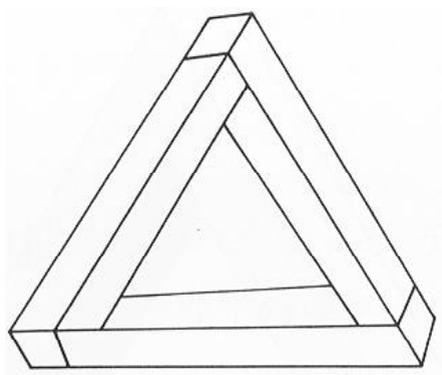
A



B

C

A,B,C
 ペンローズの
 不可能図形



D

ミュラー・リヤー錯視

A,B,C,D

下條信輔『視覚の冒険』産業図書
 1995年 p3,89,121

脳は、錯覚Illusionするものである。

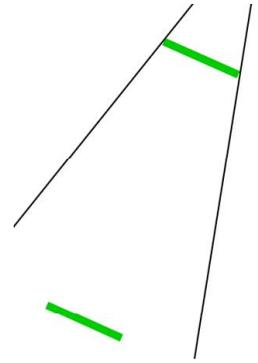
錯覚を、楽しめばよい。

わたしたちは、つい先入観をもったり、
ときに学習は、負をもたらす。

脳は、休むことDMNを必要としている。

※デフォルト・モード・ネットワーク DMN

(睡眠や散歩が、脳のリフレッシュに効果的である)



ポゾン錯視
緑線の長さ(幅)は同じ

ネッカーの六面体(表紙)では、先に現れた像が脳を占有し、
努力むなしくもう一つの像は、自身の脳生理が原因し、
すぐには現れない。

シュレッターの階段・ルビンの壺(p3)も同じ。

ルビンの壺は、なぜか容易い。

(p13 カニツツアの三角形)

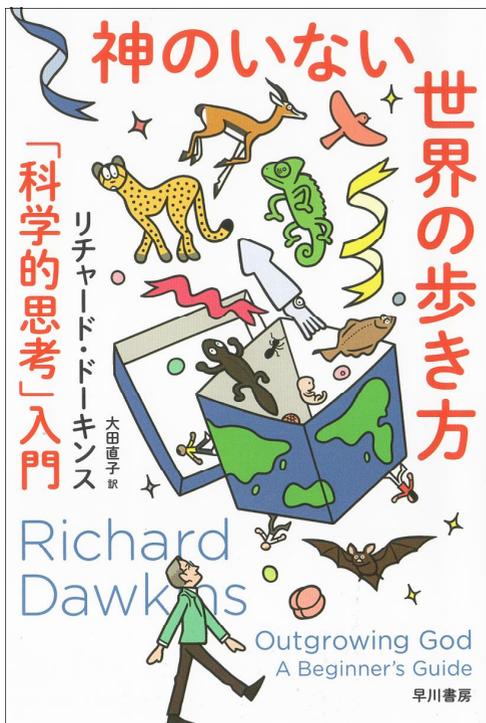
あらゆる体験(りんご)、さまざまな体験(りんご)を重ねることで、
人それぞれの内心に、△の像をつくる。

△は皆それぞれで、同じではない。

他者はなんらかの△を持っているであろう、と、共有できる。

子どもの遊び体験は、この「体験」に相当し、
乳幼児に必須である。

お勧めしたい本



リチャード・ドーキンス (イギリス)
生物学者・作家
『利己的な遺伝子』(p16) で知られる

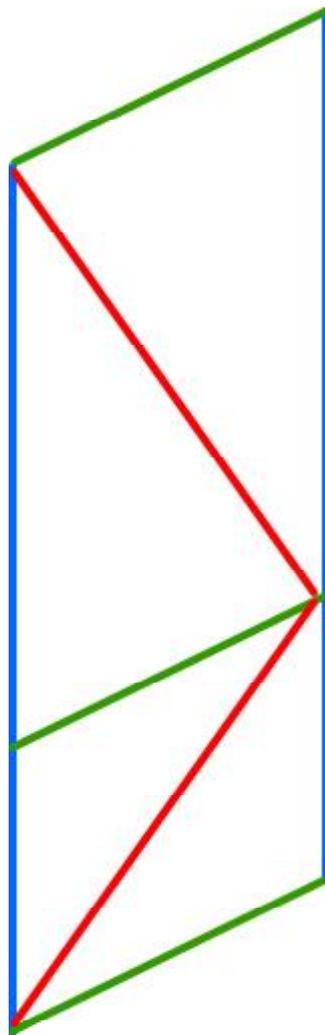
『神のいない世界の歩き方』

Outgrowing God

副題：「科学的思考」入門

A Beginner's Guide

大田直子/訳 早川文庫 2022年



色ごとに同じ長さ

サンダー錯視

M.C.エッシャー 生1898-没1972 オランダ サークルリミットIV (p18)

カニッツアの三角形 p13 イタリア 1955年

サンダー錯視 p21 ドイツ 1922年頃

シュレーダーの階段 p3 ドイツ 1858年

ネッカーの六面体 表紙 スイス 1832年

ペンローズ p19 イギリス 生1931年-現存

ポンゾ錯視 p20 イタリア 1913年

ミュラー・リヤー錯視 p19 ドイツ 1889年

ルビンの壺 p3 デンマーク 1915年頃



ポンゾ錯視p20参照

p16-17 **いろは** ベック,ユレシュ,トレイスマンほか 1967,1975,1980,1982年

デフォルト・モード・ネットワーク DMN …… 脳神経活動の機能



神戸市北区 しあわせの村 撮影：筆者

ふしぎなえ

あんの みつまさ
安野光雅え



急に雨が降ってきて、
木の下で、雨宿り。

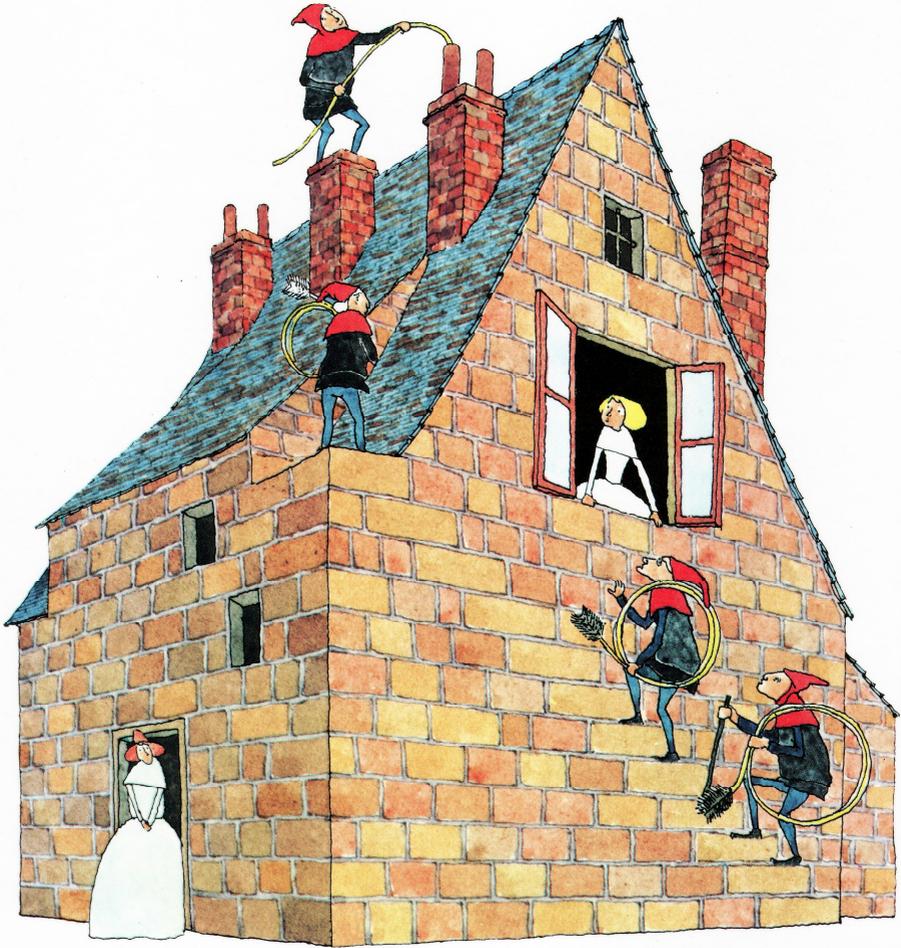
なぜ、
木の下だとぬれない？



福音館書店 1968年

ふたごのふ

ふたごのふ
ふたごのふ



noizulli elt yojno